

平成27年7月現在、「可燃ごみ」という名称に変更されています。



今回のテーマは「ごみ減量化作戦」です。

「燃せるごみ」の約50%が家庭で出される「生ごみ」です。

そのほとんどが水分であることは、みなさんご存知かと思いますが。

そこで、生ごみとして捨ててしまう野菜や果物の皮などを、捨てる前に、ちょっとした工夫をして、ごみの減量化に取り組んでみませんか。

ごみ減量化作戦

料理のときに出る野菜の皮をキッチン三角コーナーに入れる前に、新聞紙などに広げて乾かしてみてください。

3日程度乾かすと、約3分の1以下となり、大幅な減量化となります。

ごみの収集日に燃せるごみの袋を持ったとき、「あれっ、軽くなっただけかな？」と感じるかもしれません。

これからの時期は、家の中に置いておくだけで乾かすことができ、保湿効果も期待できます。

おおいそ廃棄物減量化等推進員では、大根の皮やじゃがいも

の皮など、いろいろなものを使って、ごみ減量化作戦の実験を行いました。

その結果をいくつかご紹介いたしますので、ぜひ、ご家庭で試してみてください！（左表参照）

おおいそ廃棄物減量化等推進員の『ごみ減量化作戦』

品名	ダイエット前	ダイエット後	ダイエット率
大根の皮	100g	8g	92%
じゃがいもの皮	100g	26g	74%
キャベツの外葉	100g	13g	87%
かぼちゃの皮	100g	33g	67%
バナナの皮	100g	29g	71%

※すべて3日乾かすダイエットを行いました。
 ※皮をむく厚さによっては、多少の誤差が出ます。

ごみのダイエット策を教えてください
 みなさんが日ごろ、ご家庭で実践している取組みがあれば教えてください。ごみに関する疑問や質問でも構いません。お待ちしております。